

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2020年10月～12月期

第99回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 令和2年7月～9月比
 - (2)前年同期比 令和元年10月～12月比
 - (3)来期見通し 令和3年1月～3月見通し
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	136社
回答率	27.2%

(業種別)

製造業	38社
建設業	26社
卸売業	12社
小売業	30社
サービス業	30社
合計	136社

(2) 実施時期

2020年10月～12月期

(3) 調査内容

調査対象の第3四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

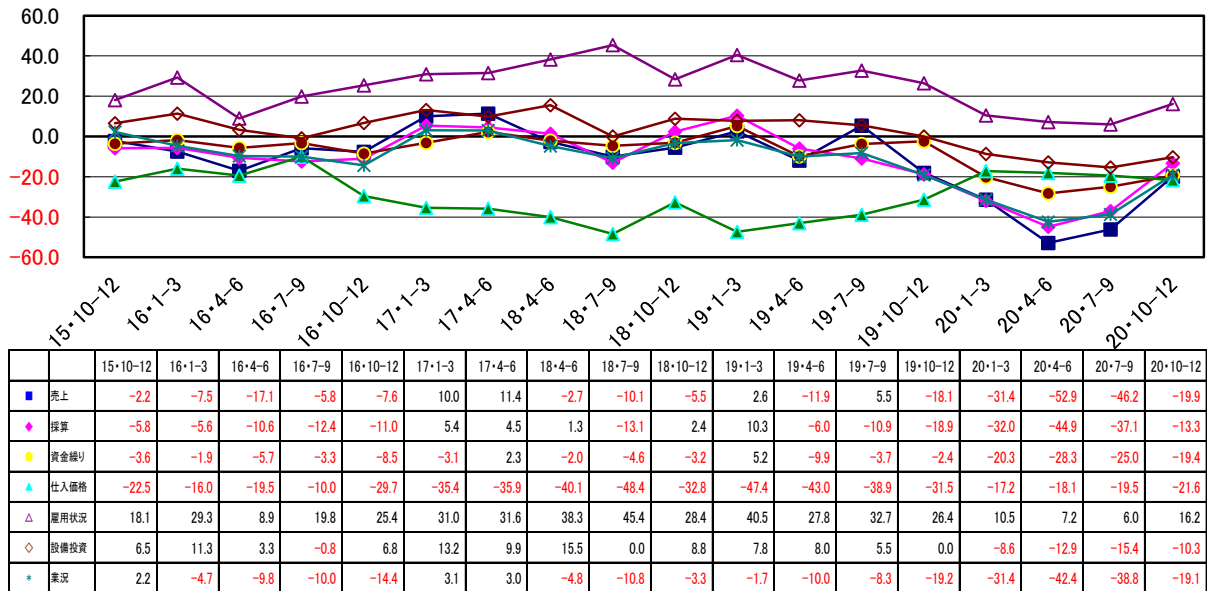
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味します。

売上DI	=	(増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)
採算DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
資金繰りDI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
仕入価格DI	=	(下落 ")	—	(上昇 ")
雇用状況DI	=	(不足 ")	—	(過剰 ")
設備投資DI	=	(拡大 ")	—	(減少 ")
業況DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")

2. 調査結果(DI)

前年同期比(全企業DIの6か年の推移)



3. 概況

継続する新型コロナウイルス感染症の影響

(1) 今期の特徴

今期は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が10月まで一時落ち着いた。11月からまた感染者が拡大したものの、前回調査前よりもマイナス幅は小さい結果となった。

県内では、プレミアム付商品券が発行され、GoToキャンペーンも多く利用され、経済活動の活発化へ動き出していたが、比例するように感染者も拡大し、県内の経済が低迷する結果となった。

(2) 来期の見通し

来期の見通しについて、全業種で先行きが不透明と予想するコメントが多く見られた。新型コロナウイルス感染症の終息の目途が見えず、緊急事態宣言が発令されることによる、外出自粛や時短営業の要請で経済への影響を懸念するコメントも見られた。

一方、少数ではあるが、自助努力や季節的な要因で好転を予想するコメントもあった。

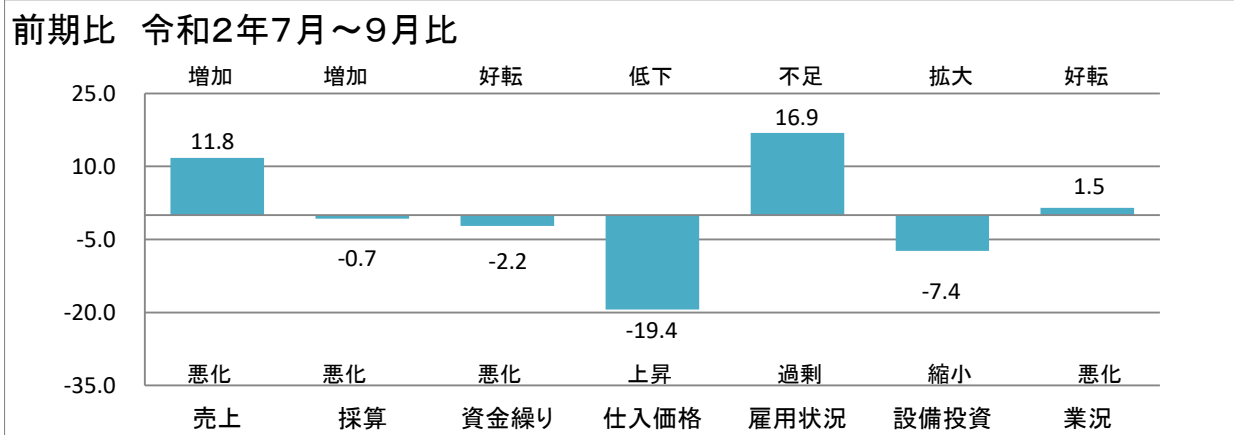
(3) 経営上の問題点

1位「需要の停滞」、2位「従業員の不足」、3位「熟練技術者(従業員)の不足」、4位「人件費の増加」、5位「生産設備の不足・老朽化」という結果になった。

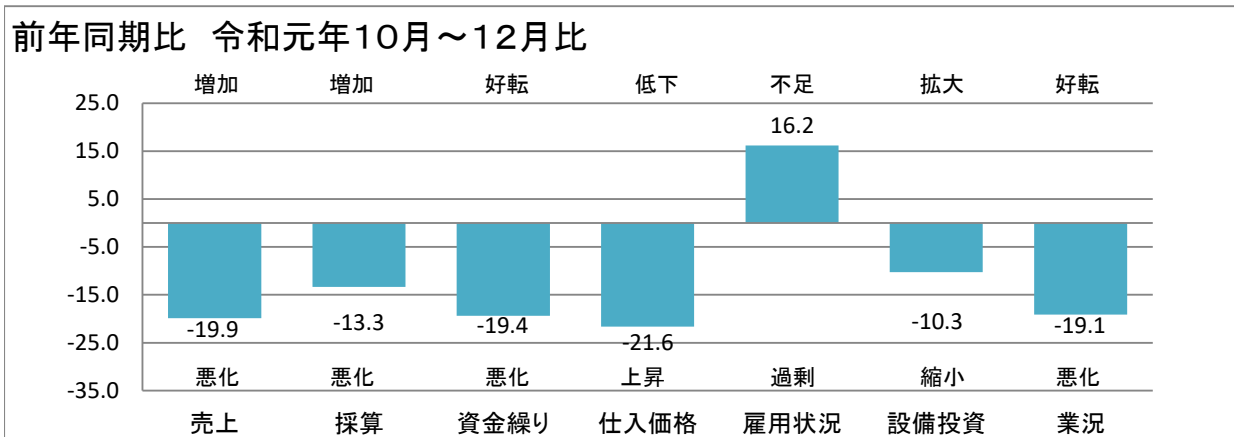
(4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理化を実施したい」、5位「新製品の開発を行いたい」、「経営の多角化を行いたい」という結果になった。

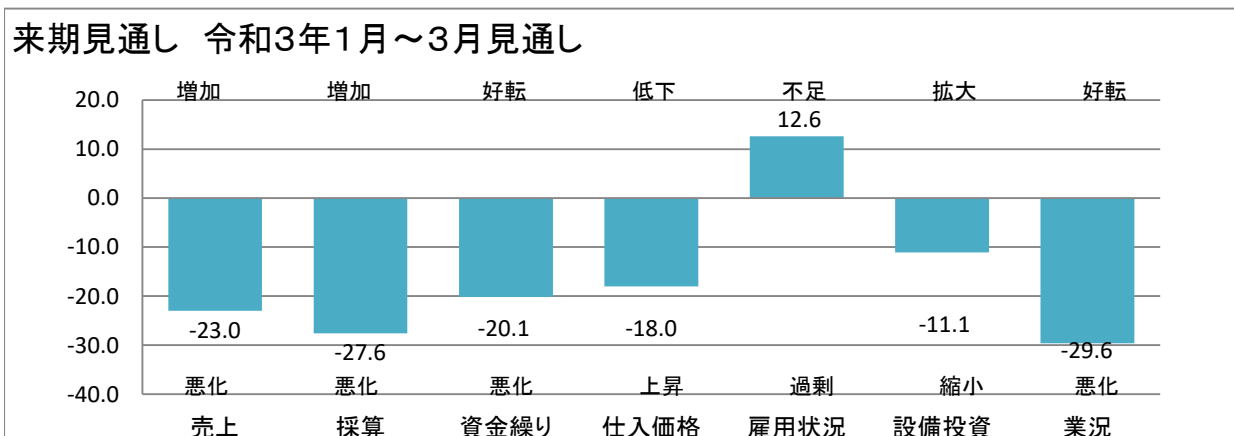
4. 県内の景気動向(全業種)



前期と比較すると、売上、業況DIがプラスの数値を示し、仕入価格DIは△19.4の大きなマイナスを示す結果となった。建設業以外の業種で売上DIがプラスの数値を示す結果となり、繁忙期による売上増加やGoToキャンペーンによる好転、コロナの影響なし、前年並みの受注であったというコメントが見られた。一方、長引くコロナ禍の影響による需要の停滞を挙げるコメントも多数あった。



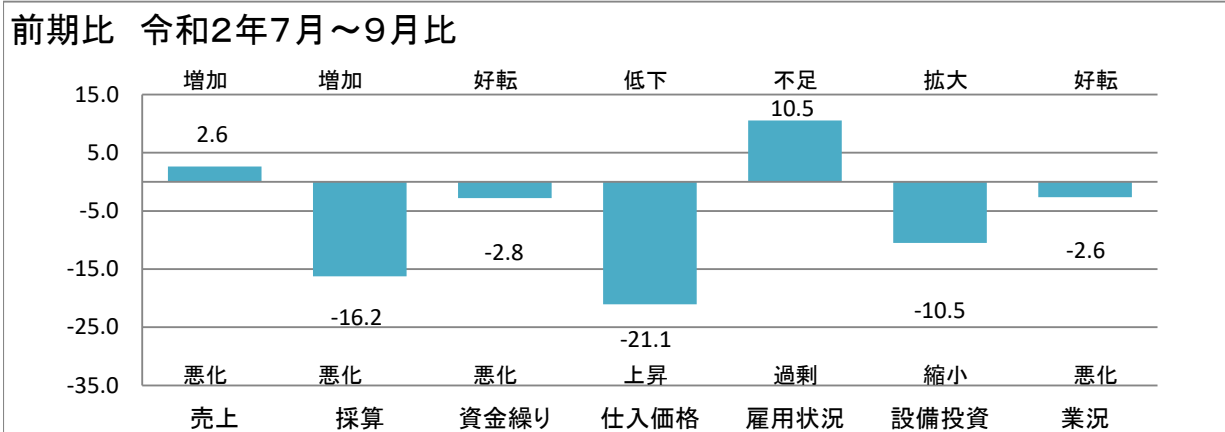
前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示し、昨年から大幅に経営環境が悪化した。年末の需要期に新型コロナウイルス感染症の感染拡大により受注が減少し、売上減少等の影響を全業種で連鎖的に受けている。また、不要不急の外出自粛等で多くの事業所が経済活動の低迷による悪化の状況にある。



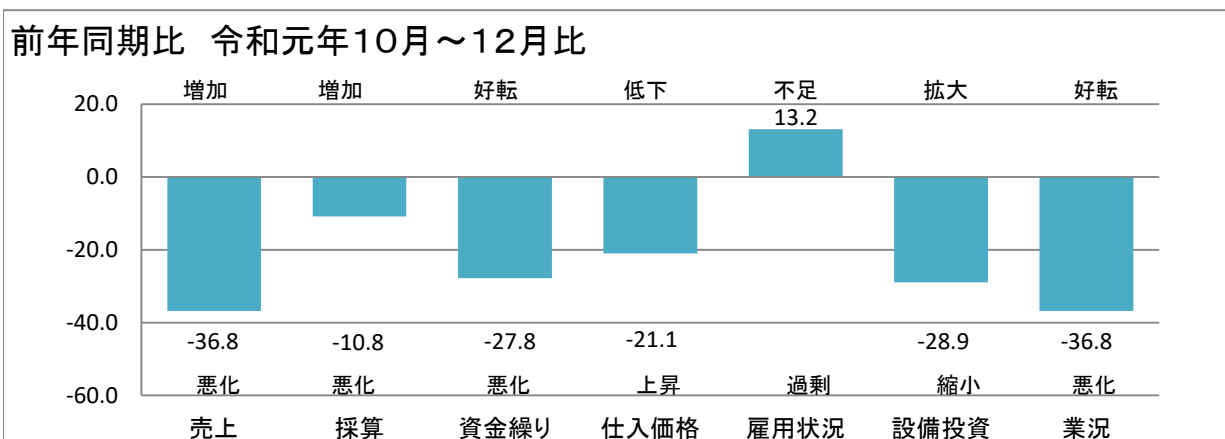
来期の見通しとして、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。全業種で新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きに対して不安視するコメントが多くみられた。新型コロナウイルス感染症の感染者数が増えたことにより緊急事態宣言が発令され、外出自粛と飲食業に時短営業の要請がされるなど、営業活動への影響が今後も懸念される。

5. 業種別の景気動向

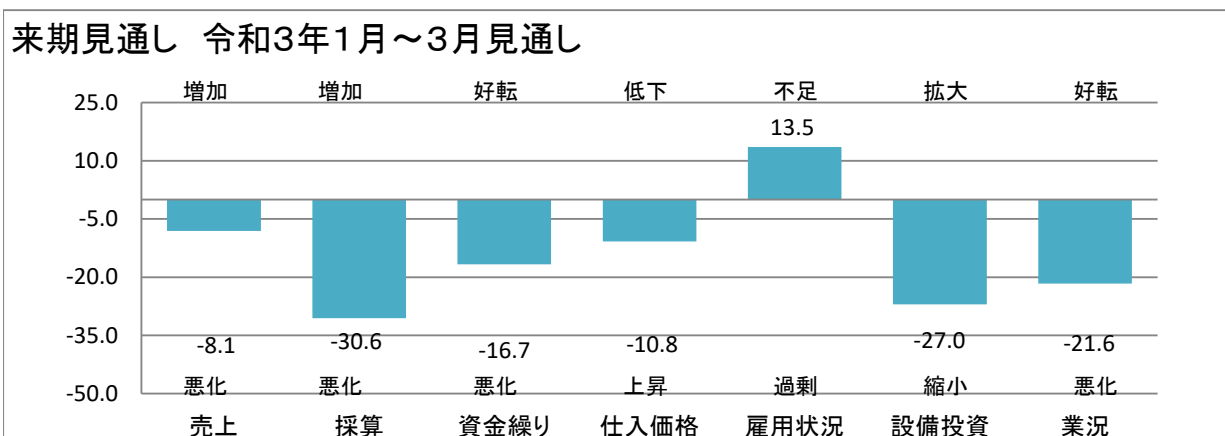
(1) 製造業



前期と比較すると、売上DIが微増したものの、採算DI、仕入価格DIはマイナスを示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、需要の低迷や受注の減少による売上高の減少を挙げるコメントが多くみられた。製材関連では、販売量は増加したが、原材料価格も上昇したことで薄利な状況にある。一方、電子部品関連では、スマートフォンの5G関連部品の受注が増加したというコメントが見られた。



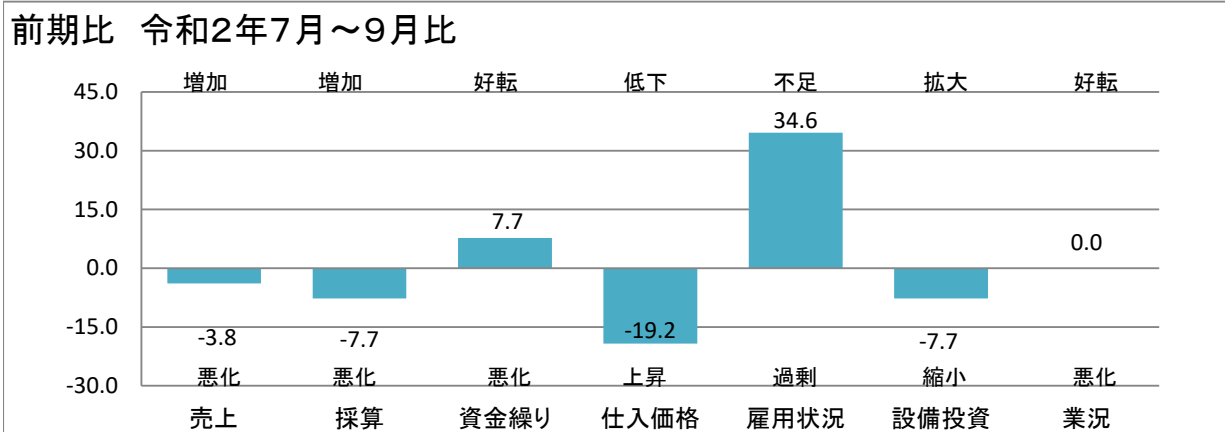
前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、仕事量が減少したことにより、製造量が低下し、売上や業況が悪化したというコメントが見られた。一方、半導体関連に関しては、部品加工の増産によって好転したというコメントがあり、外部要因等によって悪化せずに好調な事業所がある。



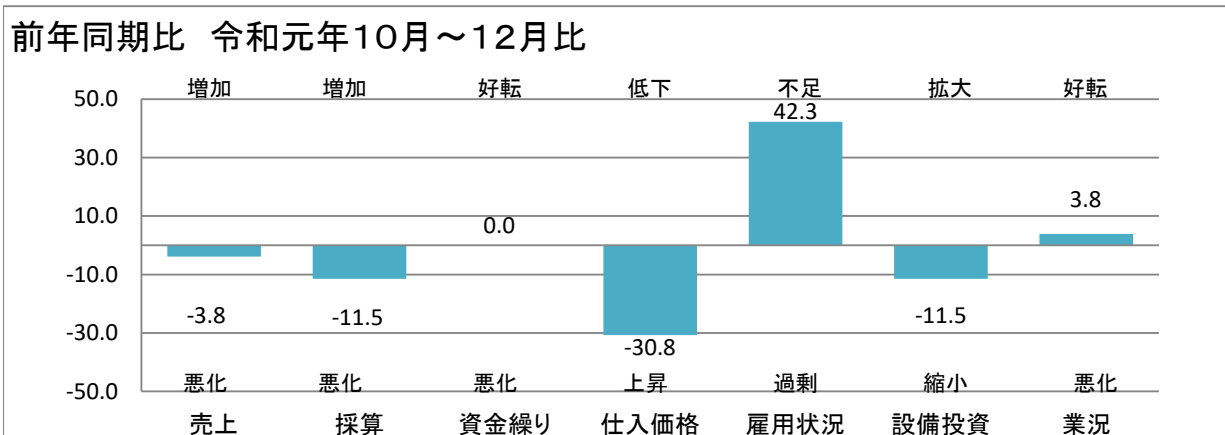
来期の見通しは、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。半導体関連や電子部品製造関連では、部品の受注の回復や、増産の見通しがあるとのコメントが見られた。一方、受注の減少や、原材料費の高騰を懸念するコメントも見られた。また、今後も新型コロナウイルス感染症の影響による先行きを不安視するコメントも見られた。

5. 業種別の景気動向

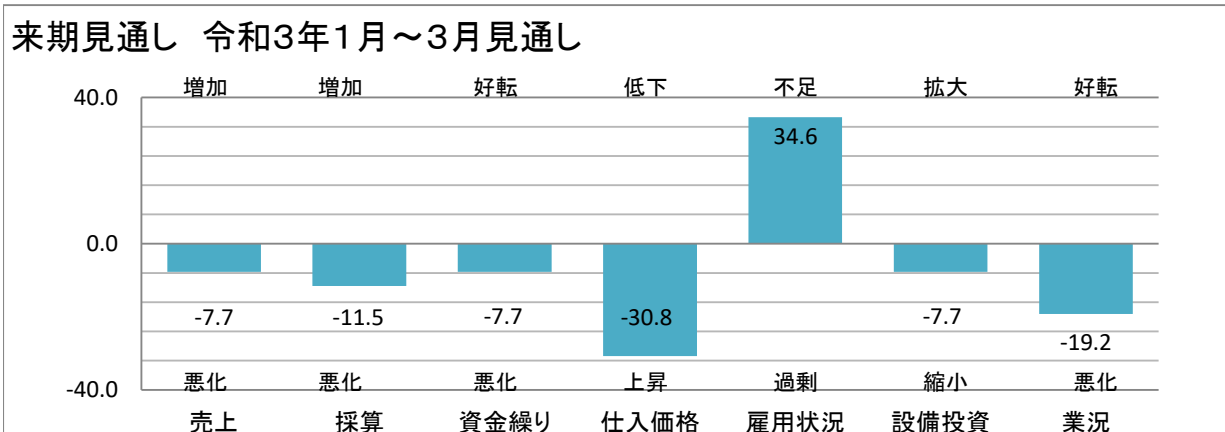
(2) 建設業



前期と比較すると、雇用状況DIが大きく不足を示し、仕入価格DIは△20近いマイナス拡大となった。水道工事業では、技術者不足を挙げるコメントがあり、DI値が示すとおり人材不足が課題となっている様子である。一方、電気工事業や塗装業の一部では、今期完成を迎える工事案件は続いたことによる売上、採算の増加が見られたとのコメントが見られた。また、コロナの影響はなく、不変と答えたコメントが一定数あった。



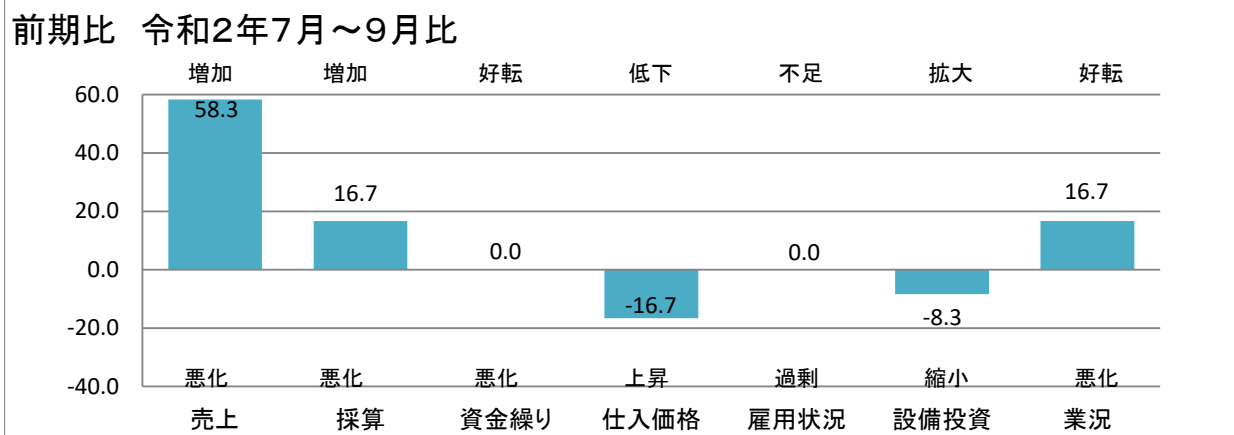
前年同期と比較すると、業況DIはわずかに好転を示すが、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示し、厳しい経営環境が伺える。結果としては、マイナス拡大が大きいものの、前期と同等の受注ができたとのコメントや企業努力により、業況が好転したとのコメントも見られた。また、公共工事は依然として受注があることで、不変と挙げるコメントも多い。



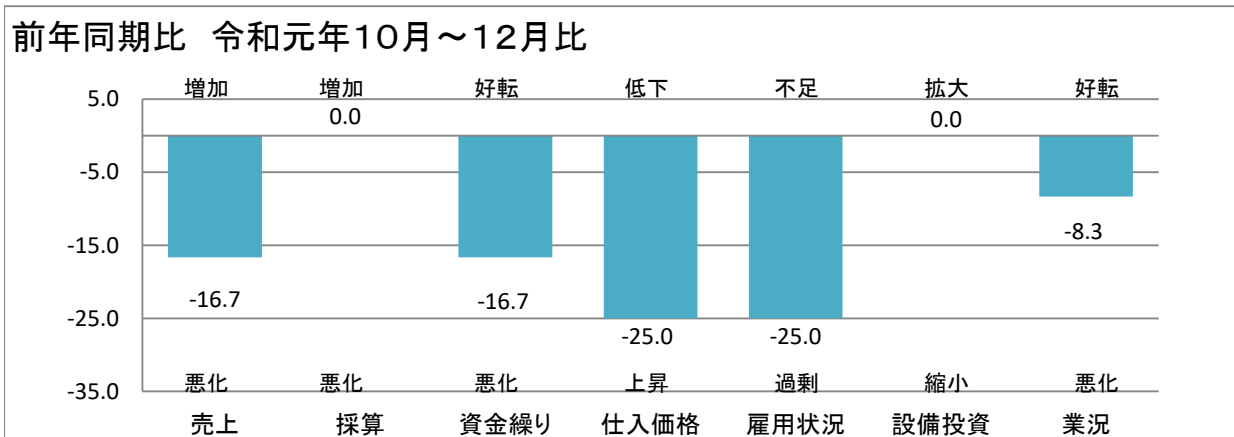
来期の見通しとして、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、経済悪化を懸念するコメントや設備投資の減少を懸念するコメントが見られた。一方、電気工事業とタイル施工業では、年度末にかけて完成案件が多くなったり、忙しくなるとのコメントが見られた。

5. 業種別の景気動向

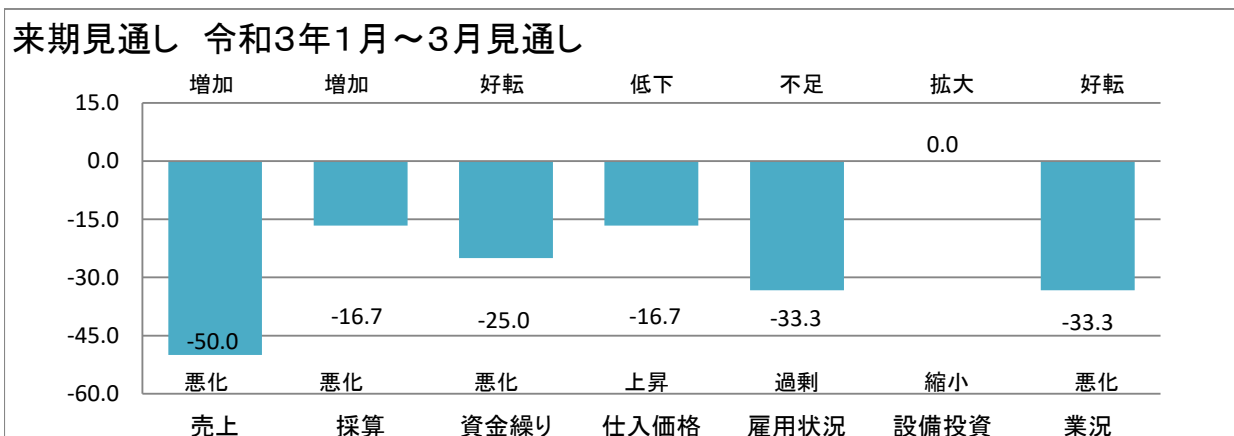
(3) 卸売業



前期と比較すると、売上DIは58.3と大きく増加となり、採算、業況DIの数値も16.7とプラスを示す結果となった。このDI値の増加・好転の要因として、年末の繁忙期というコメントが多くみられ、季節要因が強く反映された様子である。また、コロナの拡大が落ち着いたことで、飲食店での来店の増加や医療関係の備蓄による販売が増加したとのコメントが見られた。



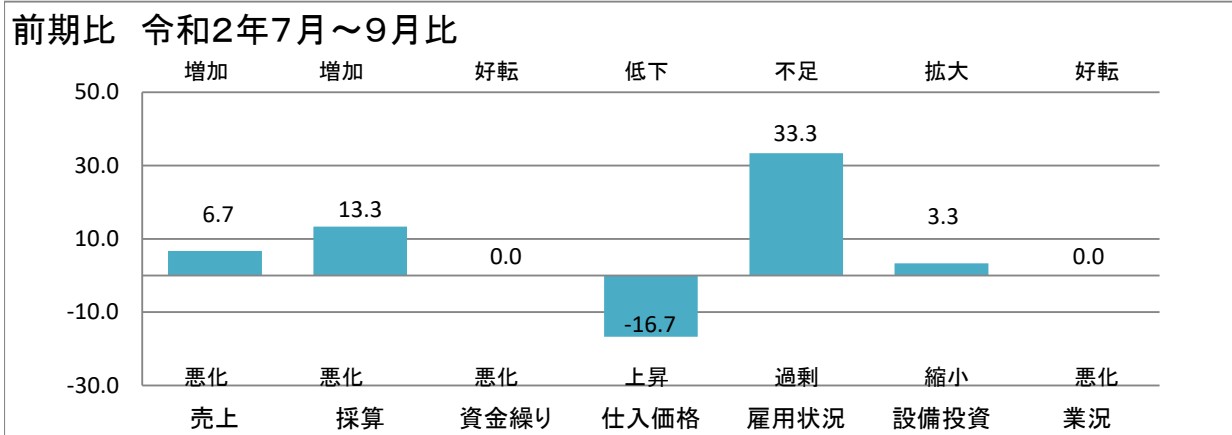
前年同期と比較すると、雇用状況DIは過剰、その他の項目はマイナスの数値を示し、業界全体で大きく悪化を表す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、食品関係の卸売を行う事業所にとっては、忘年会の自粛による売上減少を挙げるコメントがある。また、帰省客激減による年末需要の大幅な減少、お歳暮ギフトの減少により業況が悪化したというコメントも見られ、間接的な影響を受けている様子である。



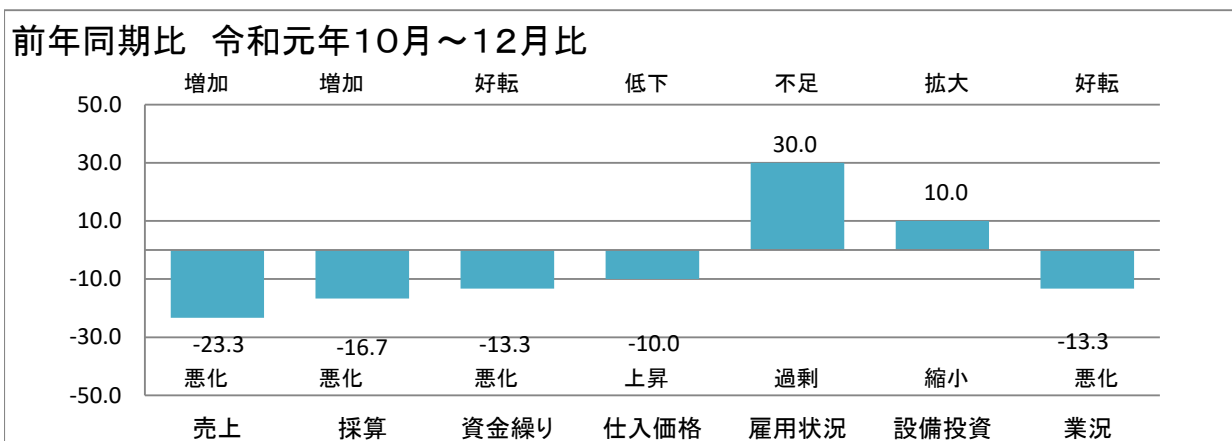
来期の見通しとして、雇用状況DIは過剰、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、業務用製品卸業では、飲食業が営業時間の短縮をすることによって、業務用商品の売上減少を懸念するコメントが見られた。また、今後も新型コロナウイルス感染症の影響による先行きを不安視するコメントも見られた。

5. 業種別の景気動向

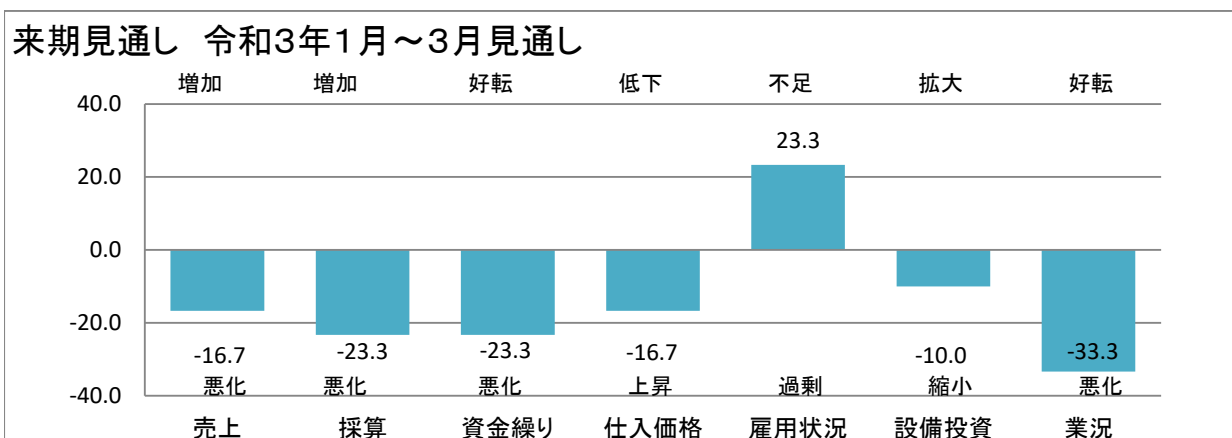
(4) 小売業



前期と比較すると、売上DIと採算DI、設備投資DIはプラスを示す結果となった。プラスの要因として、酒販店ではインターネット販売による売上の増加、手芸店ではマスクの販売量の増加、石油関係では気温の低下で需要が伸びたとのコメントが見られた。しかし、コロナにより商談機会の減少や飲食店の宴会等の減少による悪化を挙げるコメントも多い。



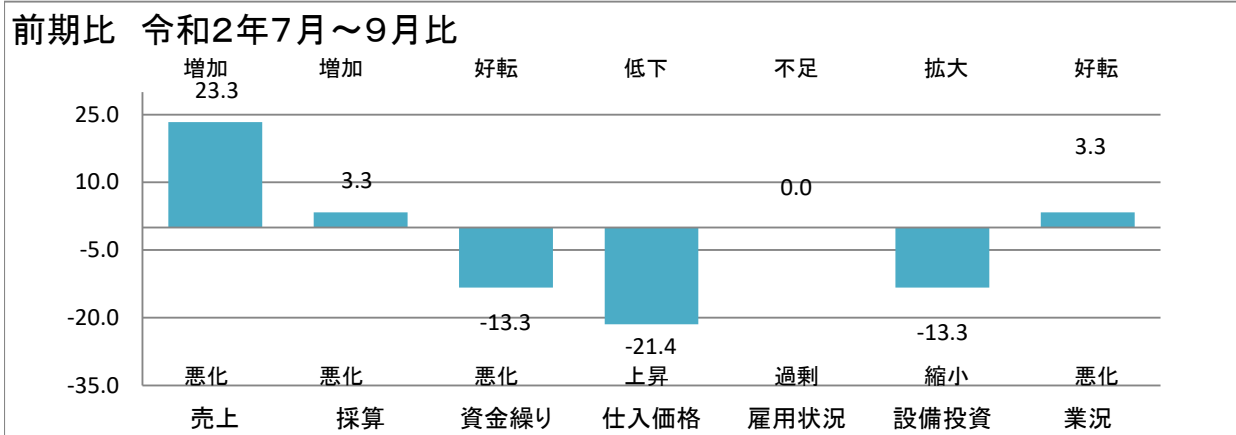
前年同期と比較すると、設備投資DIは拡大となり、雇用状況DIは不足、他の項目ではマイナス拡大の結果となった。前期比では、売上DI、採算DIともにプラスを示していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、事務用品販売関係では商談機会が減少し業況が悪化したというコメントが見られた。年末の繁忙期の営業活動が停滞したことがマイナス拡大の要因と考えられる。



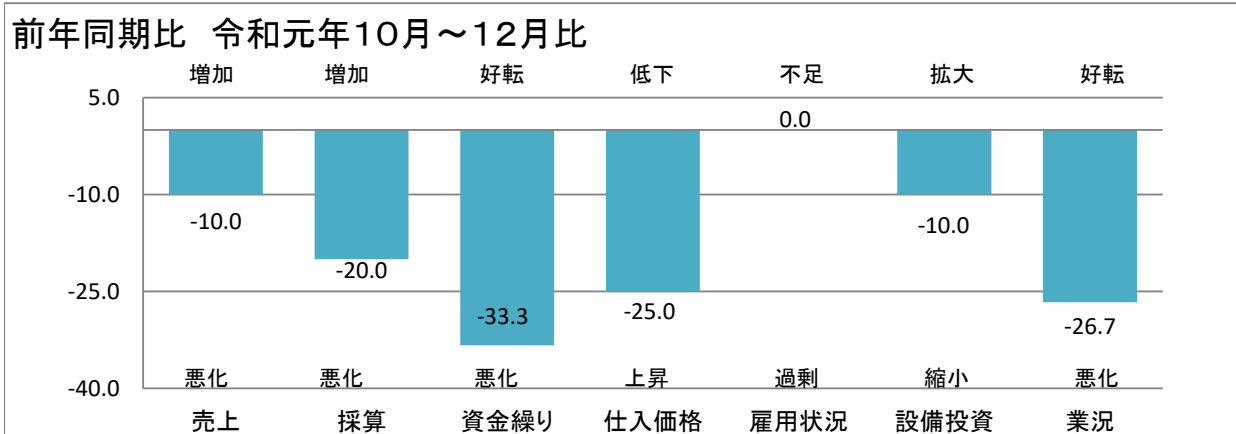
来期の見通しとして、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きを不安視するコメントや好転を期待できないというコメントが多くみられた。緊急事態宣言の発令による影響を懸念するコメントも見られた。

5. 業種別の景気動向

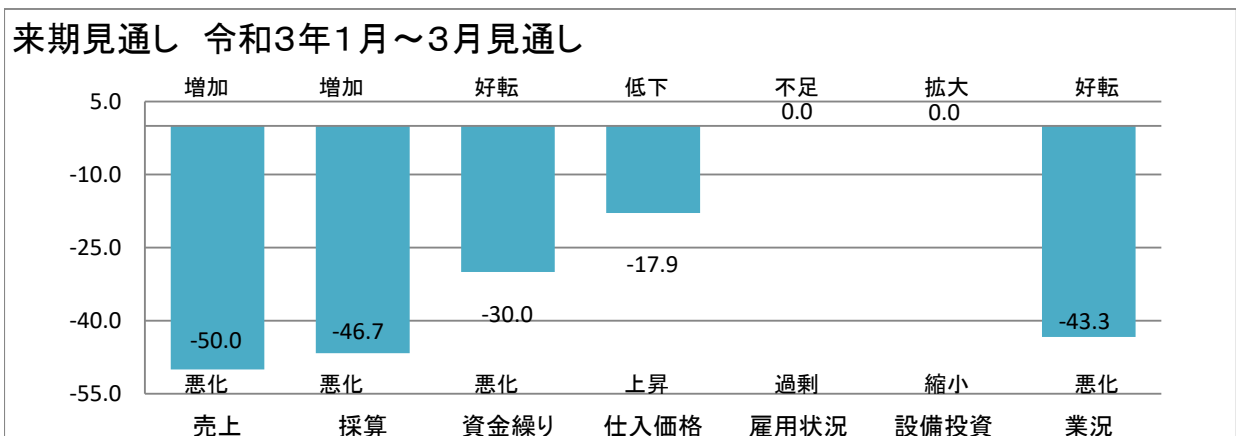
(5) サービス業



前期と比較すると、売上、採算、業況DIは増加・好転を示す結果となったが、仕入価格DIが大きなマイナスとなった。新型コロナウイルス感染症の影響で、売上が減少したというコメントが見られた。コロナによる自粛・イベントの減少、生活様式の変化が大きく影響を及ぼしている様子である。一方、宿泊業では、GoToトラベルによる一般客の宿泊増加やフェニックスリーグ関係者の宿泊による好転を挙げるコメントがあった。



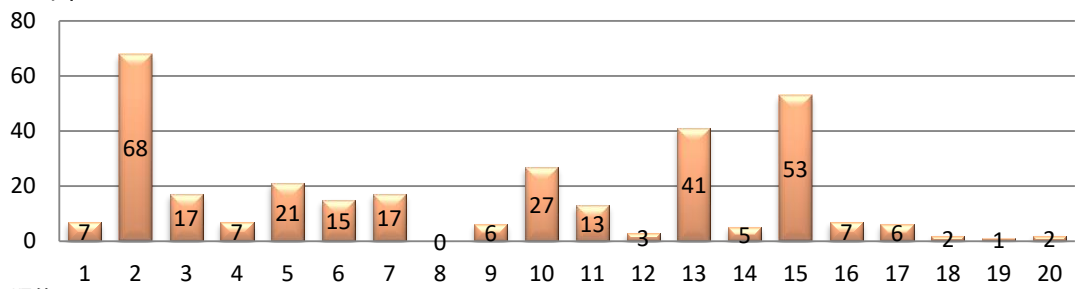
前年同期と比較すると、全ての項目で0またはマイナスの数値を示し、特に資金繰りDIは大幅な悪化を示した。一部の業種では、宮崎駅前開発による警備の特需やGoToトラベル、新型コロナウイルス感染症の予防対策設備の需要増加等で業況が好転したとのコメントがあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出自粛等の要請があり、売上が減少し、資金繰りが悪化した事業所が多い。



来期の見通しとして、全ての項目で0またはマイナスの数値を示す結果となった。特に、売上、採算、業況DIに関しては、△40を超える数値となった。新型コロナウイルス感染症の影響を今後も続くと予想し、先行きに対して不安視するコメントが多く見られた。緊急事態宣言が発令されることによる、外出自粛の要請等で需要が停滞すると予想するコメントも見られた。

6. 経営上の問題点

全業種

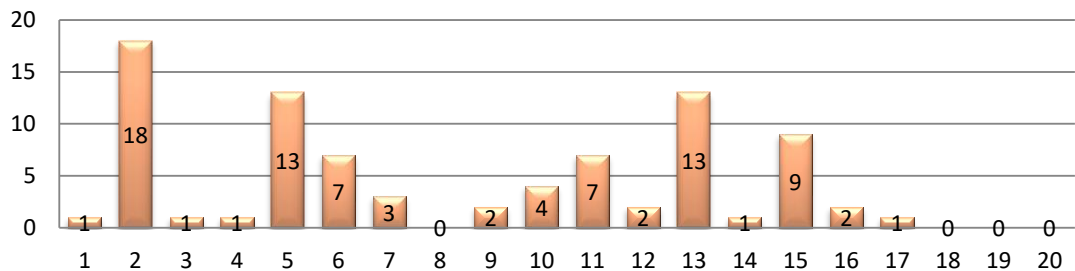


順位

1位 需要の停滞
2位 従業員の不足
3位 熟練技術者(従業者)の不足

4位 人件費の増加
5位 生産設備の不足・老朽化

製造業

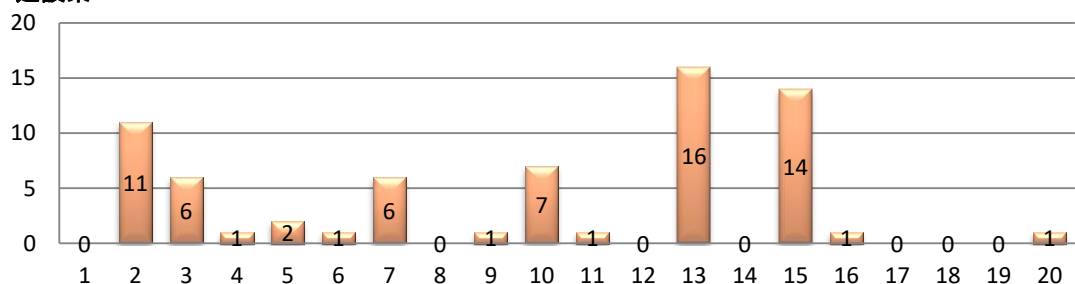


順位

1位 需要の停滞
2位 生産設備の不足・老朽化
2位 熟練技術者(従業者)の不足

4位 従業員の不足
5位 製品ニーズの変化
5位 製品(販売)単価の低下・上昇

建設業



順位

1位 熟練技術者(従業者)の不足
2位 従業員の不足
3位 需要の停滞

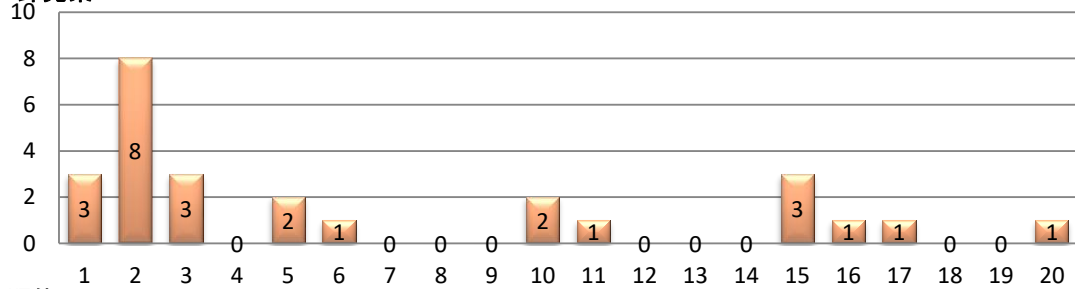
4位 人件費の増加
5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

6. 経営上の問題点

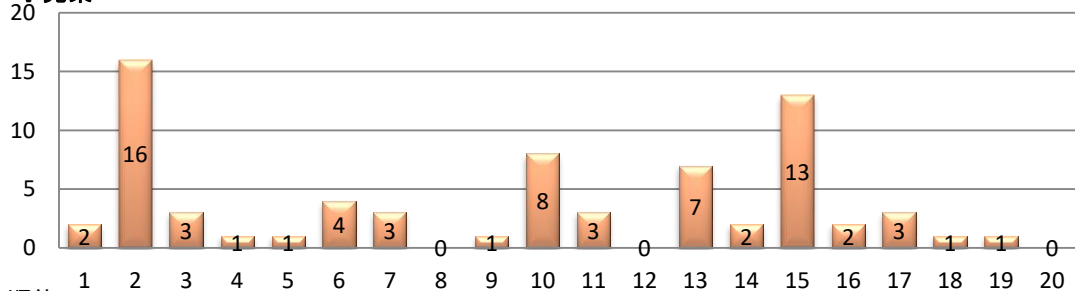
卸売業



順位

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1位 需要の停滞 | 2位 従業員の不足 |
| 2位 県外大手企業の進出による競争の激化 | 5位 生産設備の不足・老朽化 |
| 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 5位 人件費の増加 |

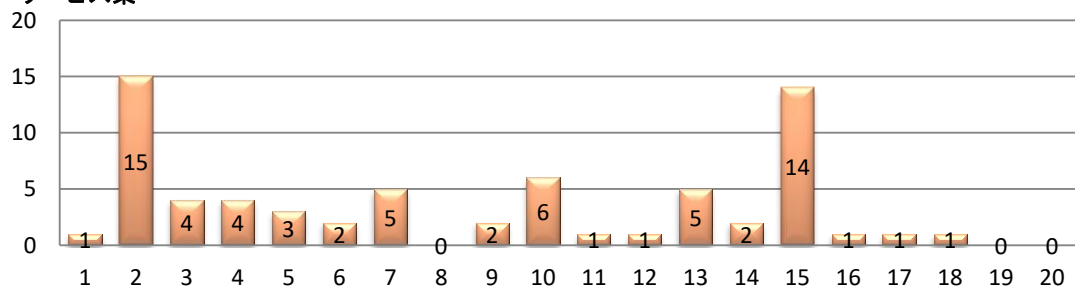
小売業



順位

- | | |
|-----------|------------------|
| 1位 需要の停滞 | 4位 熟練技術者(従業者)の不足 |
| 2位 従業員の不足 | 5位 製品ニーズの変化 |
| 3位 人件費の増加 | |

サービス業



順位

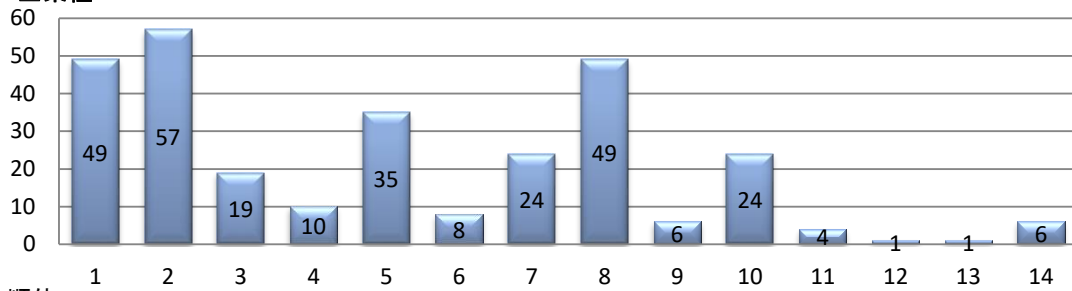
- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1位 需要の停滞 | 4位 熟練技術者(従業者)の不足 |
| 2位 従業員の不足 | 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化 |
| 3位 人件費の増加 | 5位 新規参入業者の増加 |
| 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | |

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

全業種

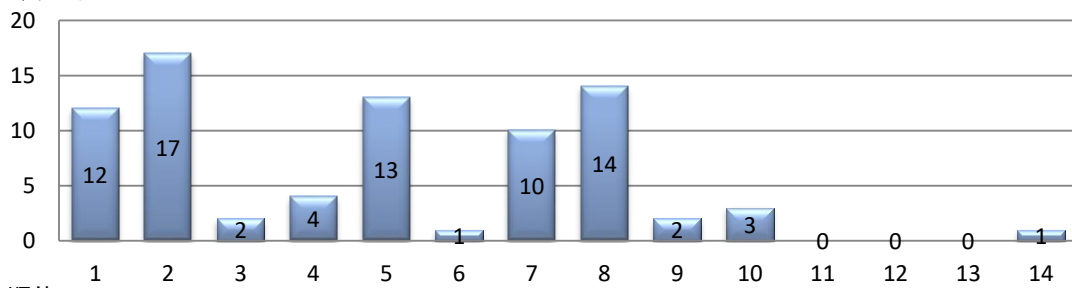


順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 従業員を新規雇用したい
- 2位 新規市場を開拓したい

- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

製造業

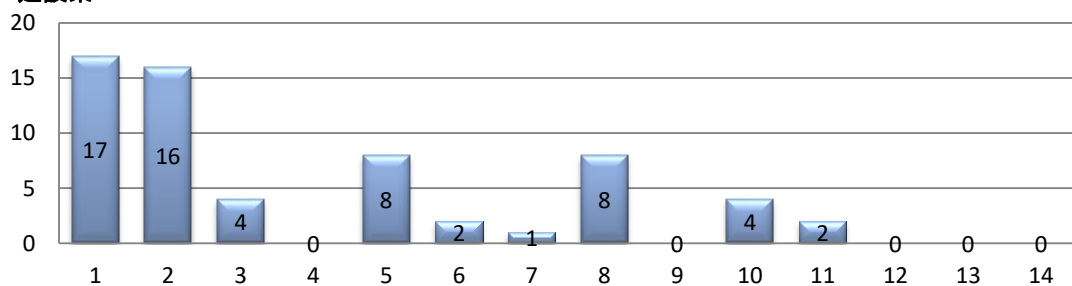


順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい

- 4位 従業員を新規雇用したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

建設業



順位

- 1位 従業員を新規雇用したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 3位 その他の合理化を実施したい

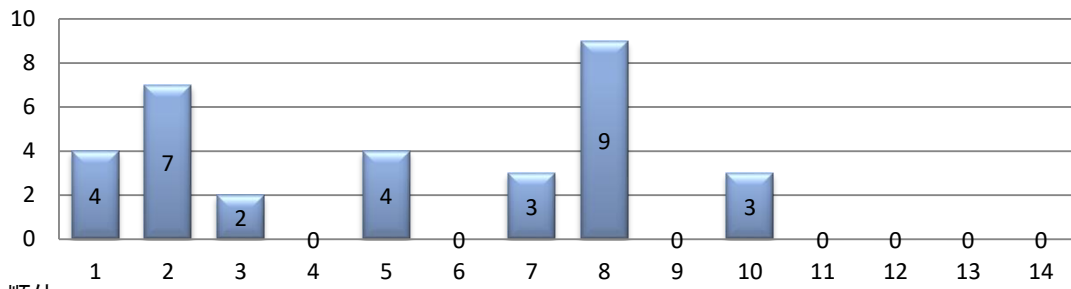
- 3位 新規市場を開拓したい
- 5位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

【項目一覧】

- 1.従業員を新規雇用したい
- 2.生産性を向上させたい
- 3.人件費を削減したい
- 4.生産調整を行いたい(操業短縮など)
- 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など)
- 6.金融機関から資金を調達したい
- 7.新製品の開発を行いたい
- 8.新規市場を開拓したい
- 9.業種転換を行いたい
- 10.経営の多角化を行いたい
- 11.下請け発注を減らしたい
- 12.海外へ生産拠点を移したい
- 13.海外から原料・部品を調達したい

7. 今後の対応策

卸売業

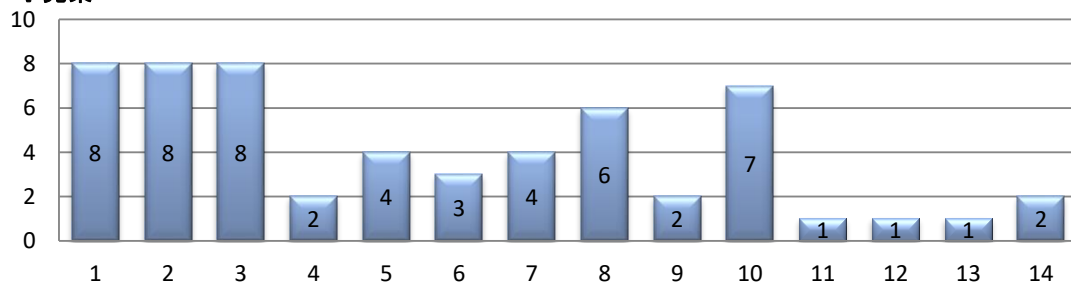


順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 3位 従業員を新規雇用したい

- 3位 その他の合理化を実施したい
- 5位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

小売業

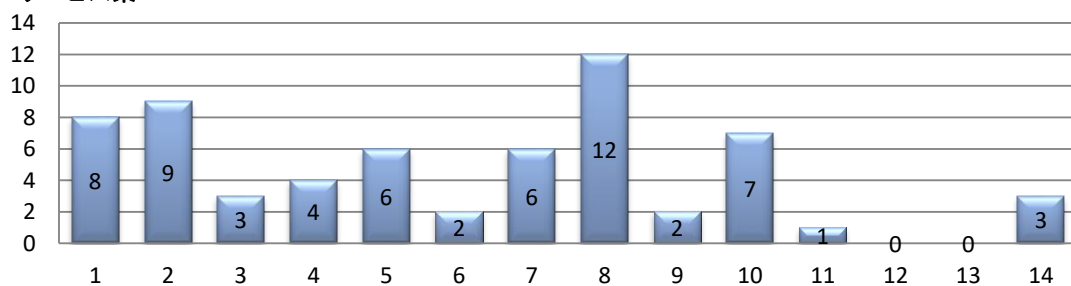


順位

- 1位 従業員の新規雇用をしたい
- 1位 生産性を向上させたい
- 1位 人件費を削減したい

- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新規市場を開拓したい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 3位 従業員を新規雇用したい

- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 その他の合理化を実施したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

【項目一覧】

- 1.従業員を新規雇用したい
- 2.生産性を向上させたい
- 3.人件費を削減したい
- 4.生産調整を行いたい(操業短縮など)
- 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など)
- 6.金融機関から資金を調達したい
- 7.新製品の開発を行いたい
- 8.新規市場を開拓したい
- 9.業種転換を行いたい
- 10.経営の多角化を行いたい
- 11.下請け発注を減らしたい
- 12.海外へ生産拠点を移したい
- 13.海外から原料・部品を調達したい

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	自動車金属部品製造	日南	感染症対策アプリCOCOAの普及の対策を行ってほしい。GOTOキャンペーンの対象者にアプリの使用を条件にするなど。また、イベントや飲食店の入場にも義務化が必要だと思います。
製造業	食品製造業	延岡	プレミアム商品券等で購買意欲を上げ、県内での生産性を上げる取り組みはしてはどうだろうか。
製造業	電機機械器具製造業	延岡	新型コロナウイルス感染症に関して、主要都市に緊急事態宣言が発令され、事業活動をより慎重に行わなければならない。これから、どれだけの影響が出るのか見通しは立たない中、長期的な視点での支援策を講じて頂きたい。
製造業	総合印刷	宮崎	持続化給付金、雇用調整助成金など各種現行支援策の延長。
製造業	印刷業	宮崎	自粛で飲食業等の支援があるが、いろんな業種で影響を受けているところがある。幅広い支援と感染対策の強化。
製造業	麺類製造	日向	コロナにより飲食店等の需要がなくなり、収入はほとんどない。行政は私たち零細企業にも目を向けてください。
製造業	鋼材加工販売	延岡	コロナ禍での補助金関係は勿論ですが、地域が活性化する設備及び施設、自然災害などの強靱化の公共事業発注を望みます。
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	これから、生き残っていくために、どのようにしたら良いか毎日考えている。制約なしでの支援をお願いしたい(行政)。
小売業	農水産物直売所	日南	日南市はコロナ感染者数がないので良いですが、発生したらバランスが崩れて良くなるか、悪くなるかが見えなくて不安です。

小売業	酒類販売業	延岡	人口減少に伴い、国・県・市町村の議員数を削減して頂きたい。また、県に対して、県内の景気に合わせて、公務員への給与を一考するべきではないか。
小売業	衣服小売業	延岡	新型コロナウイルスの感染の増加により、売上減少につながり、資金繰り難になってきている。事業を継続する為の給付金や融資が受けやすいようにして頂きたい。また、感染を抑える為に国が医療機関や専門家の皆さんと協力して頂きたい。
小売業	石油小売	小林	新型コロナウイルスに対する適確で素早い対応。
小売業	緑茶・御結納・中国茶・茶道具販売並びに喫茶	宮崎	新型コロナウイルス感染症が流行し始めた昨年の今頃と違い緊張感が薄れてきているような感じ。国の政策も後手後手までこまで真剣に考えているのか疑問すら感じる。ただ今は我慢するのみ。
小売業	飲食業	西都	コロナの感染がこれ以上広がると、日本型変異ウイルスが出てくるでしょう。今こそロックダウン並みの対策をとらないと、オリンピックどころか日本の経済自体がダメになってしまうでしょう。
小売業	食料品小売業	高鍋	コロナの影響に対する補助政策。
小売業	時計めがね販売修理	宮崎	コロナ禍で腕時計などは店舗に向いて購入するよりネットで購入し、技術者がいる店に持込バンドの調整を依頼される数が多くなっている。店頭での商品販売は一層困難になると思います。
小売業	事務機、事務用品販売	小林	感染症拡大により経済の停滞、面談の機会の減少等影響が長続きすれば、地方経済の打撃がさらに大きいものになると思う。住民が安心して生活できる実感がもてるような施策を期待したいです。
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	飲食店ばかり補償対象になることが多いが、一般企業含め、卸・小売業・生産者への対策がほぼないことを考えると先、コロナが終わってからの経済活動への影響が大きいと思われる。目先だけでなくもう少し先を見通して対策を講じてもらいたい。
小売業	毛糸・手芸品小売	宮崎	飲食業に関しては、色々な補助や休業補償などがあるようだが、全ての業種が大変な時期でもあり飲食業だけに手厚いのはいかなものかと感じる。自然淘汰は資本主義社会ではつきものだと思いますが。

小売業	手芸用品、洋裁・和裁用品販売	宮崎	①県独自の緊急事態宣言以降、宮崎市中心市街地の客足が極端に減少した。今後緊急事態宣言を延長することになれば、さらに客足が遠のき売上の大幅な減少の方向であるため、国への働きかけを行い、中小企業への支援金を検討をお願いしたい。②アミュプラザ宮崎発着のグルッピーのバス停の明確化及び増便を検討してほしい。
建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道(北郷―清武間)の早期開通を願う。
建設業	看板製作業	日向	消費税がいつも重くのしかかっています。借入金で支払うという状況から、抜けられない感じ。熟練工がおらず、人件費だけが出て行ってしまい人材育成を急いでいるが好転するには数年かかってしまう。
建設業	建設	日向	公共工事の入札で受注するにはくじで当たるようなもの。これでは経営できない。
建設業	建築・大工・とび土工・屋根・タイルれんが・ブロック・鋼構造物・内装仕上・建具工事業	宮崎	民間の設備投資への促進助成。
建設業	管・水道施設工事業	都城	まず第一にコロナ対策、あとはそれから。
建設業	建設業	串間	大工さんの新規雇用をしたいが、社保の会社負担額と本人の希望額の差が問題となり雇用に至りません。社保や年金は会社が50%負担している事実をもっと周知させるべきです。
建設業	建設業、不動産売買・賃貸・仲介・管理業	宮崎	コロナ対策に前後200兆円を投入するが、今後の国の運営が大変心配。
建設業	塗装業	延岡	県外への営業活動が実施しにくいので、WEBを活用した商談会の場を作っていただきたい。技能実習生を雇用しており、入国規制で人が確保しにくいので、コロナ対策をしっかりとっていただきたい。
卸売業	青果卸	日南	売上・利益が出ないので経営が困難。再度国の融資をお願いしたい。
卸売業	酒類・食品卸売	日向	消費税複数税率の一本化を早急に実現してもらいたい。あと、4月より実施予定の小売価格の総額表示の義務化を延ばしてもらいたい。

卸売業	建築資材卸	日南	今はただコロナの終息を願うのみです。
卸売業	業務用製品卸	日向	緊急事態宣言を受け飲食店が補助金を受けることは当然かと思うが、弁当屋、仕出し屋は該当しません。また、飲食業に卸しを行っている企業にも対前年50%以下だと補助金が出るようですが該当できない企業はダメージが増えるだけの無策と感じます。平等に補助金がいき渡る整備ができなければ今後存続が難しくなる業態が増えると考えます。
卸売業	建築・木工・金物	都城	需要のある総合建材店として今後益々忙しくなりそうです。
サービス業	建築設計	日南	地場の企業を大事にしてもらいたい。 企業誘致をして地元の企業から、人を引き抜かれるより、地元の企業が頑張って雇用する方が市に納める税金も増える。誘致企業は5年間税制優遇があるため増税にならない。
サービス業	タクシー	日南	新型コロナウイルスによる売上減少の為の支援金をお願いします。
サービス業	ホテル・ゴルフ	日南	消費促進施策を積極的に実施して頂きたい。
サービス業	飲食業	日向	飲食業全般で先の見えない状況が続いている。テイクアウトやネット販売等の充実を取り組みたい。
サービス業	飲食業、不動産業、商業デザイン	宮崎	情熱のある個人、企業の支援、開発援助で商品化そして販売、PR支援による生産性UPと利益確保。各補助金等正しく使い実績を作り持続可能な産業を育てる。
サービス業	通信業	日向	コロナの影響はこれからが本番のように思える。地震、津波、火事、水害が同時に起こった様にコロナ被災者が出ないようにしっかり対策を講じてほしい。
サービス業	美容業	西都	コロナ対策が景気対策になるのでしょうか？※宮崎県は早めの対策をしてほしいと思います。
サービス業	看板広告業	宮崎	緊急事態宣言がでて、飲食店には少しでも補助金が出るからまだいい。われわれの業界では何の補助もなく耐えなければならない。

サービス業	クリーニング業	延岡	業種によっては、国の持続化給付金の一月売上50%ダウンの要件に該当せずとも、毎月10～15%ダウンが続き、非常に厳しい状況にあると感じる。持続化給付金の寛容な対応があると助かった。
サービス業	不動産購入・販売、 不動産仲介	宮崎	今の所、国の対策としての資金を一回も利用していないが、今後の展望が見えない。